

シャローム shalom 2013.3 No.116



ご本人らしく前向きな生活を支えて

わたなべ ごう
バプテスト在宅ホスピス緩和ケアクリニック 院長 **渡辺 剛**

バプテスト在宅ホスピス緩和ケアクリニック (BHH)を担当させていただいております渡辺剛です。昨年の11月でBHH開院から満3年が経ち、少しずつではありますが在宅でのホスピスケアを希望される患者さんが増えてきているように思います。ホスピス緩和ケアについては、WHOの提言で早期からの導入が謳われているところですが、以前はほとんどの患者さんが抗がん治療を終了してからのご紹介でした。しかし現在は、ご紹介になる患者さんの約20%の方が、現に何らかの抗がん治療を紹介医において継続している状態です。がん拠点病院や推進病院からのご紹介に限れば、それはさらに高い割合になります。一方で、在宅ケアは自由度が高いため、求められる内容も多様化してきております。先日とも高齢という理由だけで再発治療がなされていなかった患者さんのご紹介を受けました。すぐに専

門医による化学療法を開始するとともに、BHHからは在宅酸素やオピオイドの導入による症状緩和を開始しました。幸い治療が奏功し、在宅酸素は不要となり痛みも楽になったことから、希望されていた自宅での療養で生き生きと生活することが可能となりました。他方、患者さんやご家族とともに悩みながら抗がん治療を断念する意思決定を支えさせていただくこともあります。断念した後も、患者さんがご本人らしく前向きに生活できるようなケアの提供を心がけています。在宅ホスピスケアは単に病院医療の延長ではなく、家ならではの良さを十分に活かしたケアの提供です。

病院と在宅それぞれに特長がありますので、患者さんをご家族が望まれるところで安心して療養ができるようにこれからも日々努力してまいりたいと思っております。

Relay Column

バプテスト リレーコラム vol.13

臨床検査室

もりさか あき
臨床検査技師 森坂 亜希

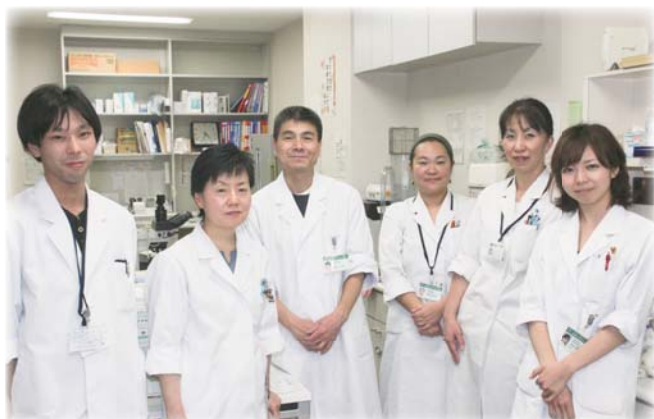


臨床検査技師とは、病院などの医療機関において種々の臨床検査を行う技術者です。

医療の分業化や検査の高度化が進み、その分野のエキスパートとして日々努力しています。当院で行っている検査については大きく2つの分野に分かれます。まず、1つめは検体検査です。当院では採血も臨床検査技師が行っているため、検体採取から検査結果が出るまで全てに携わっています。検体検査にもさまざまな分野があり、生化学検査・輸血検査・尿検査・検査キットを用いた各種迅速感染症検査などをおこなっています。2つめは生理検査です。これは患者さんの身体の内部を調べる検査です。心電図・肺機能検査・血圧脈派伝導速度検査(ABI/CAVI)・自律機能検査・脳波・誘発電位・聴性脳幹反応検査(ABR)・超音波検査などを行っています。



また、近年重要視されているチーム医療にも参加しています。病院のNSTチームや糖尿病チーム、糖尿病教室などに参加しており、患者さんにお会いする機会も多くなっています。私たちから患者さんに、検査に関する説明や療養指導のサポートなどを直接行うこともあります。



私たちスタッフは、進歩する医療の現場に対応していくために認定技師の資格を取得したり、専門分野に関する勉強会や学会に参加したりすることで最新医療の情報を取得し、スタッフ全員で臨床検査室の技術の向上に努めています。

忙しい日常のなかで、患者さんのために日々精進し信頼される部署になれるようがんばります。患者さんに愛される臨床検査室を目指します!!

聖書の小道

第6回 名前を呼ぶ

イエスが

「名は何というか」と

お尋ねになると、

「レギオン」と言った。

ルカによる福音書
8章 30節前半

みやがわ ゆみこ

牧師・チャプレン 宮川 裕美子



海外での生活で学んだことの一つに「名前を呼ぶ」というのがあります。名前を呼ばれると、すれ違いの出会いでも、特別なものを感じられるのです。なぜ名前を呼ばれると特別なものを感じられるのでしょうか。それは他の誰でもなく、この「私」に声をかけてくれていることであり、また自分が相手に関心をもっていること、相手との出会いを大切にしていることの表れでもあると思えるからです。見知らぬ、慣れない環境の中で小さく閉じていきそうになる心が、くじけそうな心が、名前を呼ばれることを通して温かくされ、開かれていくことを体験しました。

主イエス・キリストがゲラサ人の地方で癒しの奇跡を行われた時、相手の名前を尋ねられた箇所が聖書にあります。社会生活から切り離されていた人に、主イエスだけは自ら近寄り、その人の名を尋ねられました。言うまでもなく、主イエスにとって、その人はかけがえのない存在だからです。また主イエスは、ただその人の体を癒されたのではありません。名と名を呼び合う関係の中で、主イエスは「からだところとたましい」のすべてを癒されたのです。

今日も医療団施設ではたくさんの方の名前が呼ばれています。そのお一人お一人の名前を呼ぶとき、呼ばれるとき、お互いの「からだところとたましい」に響く出会いがありますように。

はーもにー

Harmony

「最初の現場」から「最期の現場」へ

1月からホスピス病棟でクラーク業務をするようになりました。それまで私は1年半産婦人科病棟で、命の生まれる『最初の現場』でクラーク業務をしていました。もうすぐ異動という昨年11月に遠方の祖母が亡くなり、最期について考えることが増えました。

もっとやりたかった事があって、もっと話したかった事があったはず。そう考えると、その時を迎えるまでの大

切な時間を、ホスピス病棟で過ごす事を選ばれた患者さんやご家族に事務サイドとしてどう接していけばよいか。今回正反対と言っていい『最期の現場』で仕事することになり、不安や戸惑いもあります。これから悩み塞ぐこともあるかもしれませんが、患者さんやご家族の大切な時間を思いながら、事務サイドとしてサポートしていきたいです。

むかい りさ

医事課 向井 里沙

イベント報告

医療団 12月

エレクトリカルクリスマスショー

参加者
54名

12月13日(木)の午後7時より、当医療団元内科医 鈴鹿隆之 Dr.と職員有志による音と光のファンタジーな世界が繰り広げられました。ピアノ、シンセサイザー、アコーディオンを操る鈴鹿先生のミニコンサートと職員のハンドベル演奏で楽しいひと時を持ちました。



お知らせ

眼科クリニック

屈折矯正手術(LASIK)説明会

メガネ、コンタクトにかわる屈折矯正手術について詳しくご説明いたします。

開催日時、場所については下記にお問い合わせください。

TEL 075-721-3800 (受付時間 9:00~11:00、13:00~17:00)

URL <http://www.eye-clinic.gr.jp/>

※ホームページからもメールにてお申し込みいただけます。

献金・献品 感謝ご報告 (2012.11.1~2012.12.31) 敬称略

酒井 照夫・清枝 花倉 嘉子

西南幼稚園 同志社女子中学校・高等学校

イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法

寄付金は、当医療団へ直接お持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替

記号番号 00960-4-282133

加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課 電話 (075) 702-5926

イベント報告

医療団 12月

クリスマスコンサート

12月22日(土)の午後、京都シティーフィル合唱団の皆さん60名余りをお迎えし、クリスマスソング等を聴かせていただきました。迫力のある素敵な歌声にクリスマス気分がグッと盛り上がりました。

参加者
58名



イベント報告

病院 1月のチャペルアワー

「ちゃべる寄席」

参加者
28名

2013年1月16日(水)の午後、桂 出丸氏を迎え落語のひと時を楽しみました。演題は「子ほめ」。他人のお子さんを褒める時の参考になるとか、ならないとか……。

会場は笑い声で溢れました。



イベント予告

医療団 4月

イースターコンサート

日時: 2013年4月13日(土) 14:00~14:40

出演: アンサンブル・グレース(ヘルマンハーブ)

場所: イマヌエルホール(看護専門学校1階)

※催しは都合により中止・変更になる場合があります。

また、ご入院中の方のみの参加にさせていただきます場合もあります。ご了承ください。

編集 後記

暖かな日差しが嬉しい。

春になると子どもの頃、蛙の卵からおたまじゃくしが出てくるのを今か今かと毎日田んぼに見

に行った時のことを思い出す。年を重ね、時間に追われ、ゆっくり自然を季節を感じる力が弱くなったように感じる。しかし、見回せば花が咲き、風が吹き、光が輝いている。これらはみな私たちに与えられた豊かな贈り物ではないだろうか。そのことを感謝し、身近にある春をたくさん見つけて味わいたい。(M.M.)

日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだ、こころ、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.116 2013年3月発行 発行/一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人/理事長 山岡義生 編集/日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。

著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <http://www.jbh.or.jp/>

バプテスト老人保健施設 <http://www.jbh.or.jp/roken/>

バプテスト眼科クリニック <http://www.eye-clinic.gr.jp/>

バプテスト訪問看護ステーション <http://www.jbh.or.jp/sisetsu/houmonkango.html>

バプテスト在宅ホスピス緩和ケアクリニック <http://www.jbh.or.jp/bhh/>

日本バプテスト看護専門学校 <http://www.jbsn-kyoto.com/>